

赤 氏 遺 跡

福岡県八女市大字納楚字赤氏所在遺跡の調査概報

八女市文化財調査報告書

第 20 集

1 9 9 1

八 女 市 教 育 委 員 会

例 言

1. 本書は、八女市が八女市農業協同組合（組合長理事 下川正治）より委託を受けて実施した八女市大字納楚^{のうそ}字赤^{あかうじ}氏所在の赤氏遺跡の発掘調査概報である。
2. 発掘調査は八女市教育委員会が主体となり実施した。
3. 出土遺物の整理は岩戸山歴史資料館にて行った。
4. 遺構の実測は参加者で行い、遺構写真は赤崎が、空中写真は(有)空中写真企画が撮影した。
5. 本書の執筆、編集は赤崎が担当した。

目 次

I は じ め に	1
II 位 置 と 環 境	2
III 調 査 の 概 要	3

I はじめに

赤氏遺跡は、福岡県八女市大字納楚^{やめ のうそ あかうじ}字赤氏746－1番地ほか6筆に所在する。

調査の発端は当該地に八女市農業協同組合（組合長理事 下川正治）によって倉庫、店舗等（敷地面積5,483.63㎡）の建設が計画されたことによる。このため、八女市教育委員会では試掘調査を実施して遺跡が発見されたため、八女市農業協同組合より平成2年8月13日付で埋蔵文化財発掘届が提出された。これを受けて、その後両者で協議を行い、8月14日に調査依頼があり、8月20日「赤氏地区埋蔵文化財に関する協定書」を締結した。

調査は店舗、倉庫建設によって掘削される部分約2,500㎡を調査の対象として、平成2年9月1日より調査を開始し、10月31日に現地での調査を終了した。

調査関係者は次の通りである。

依頼者

福岡県八女市大字本村420番地の1

八女市農業協同組合 組合長理事 下川正治

調査主体

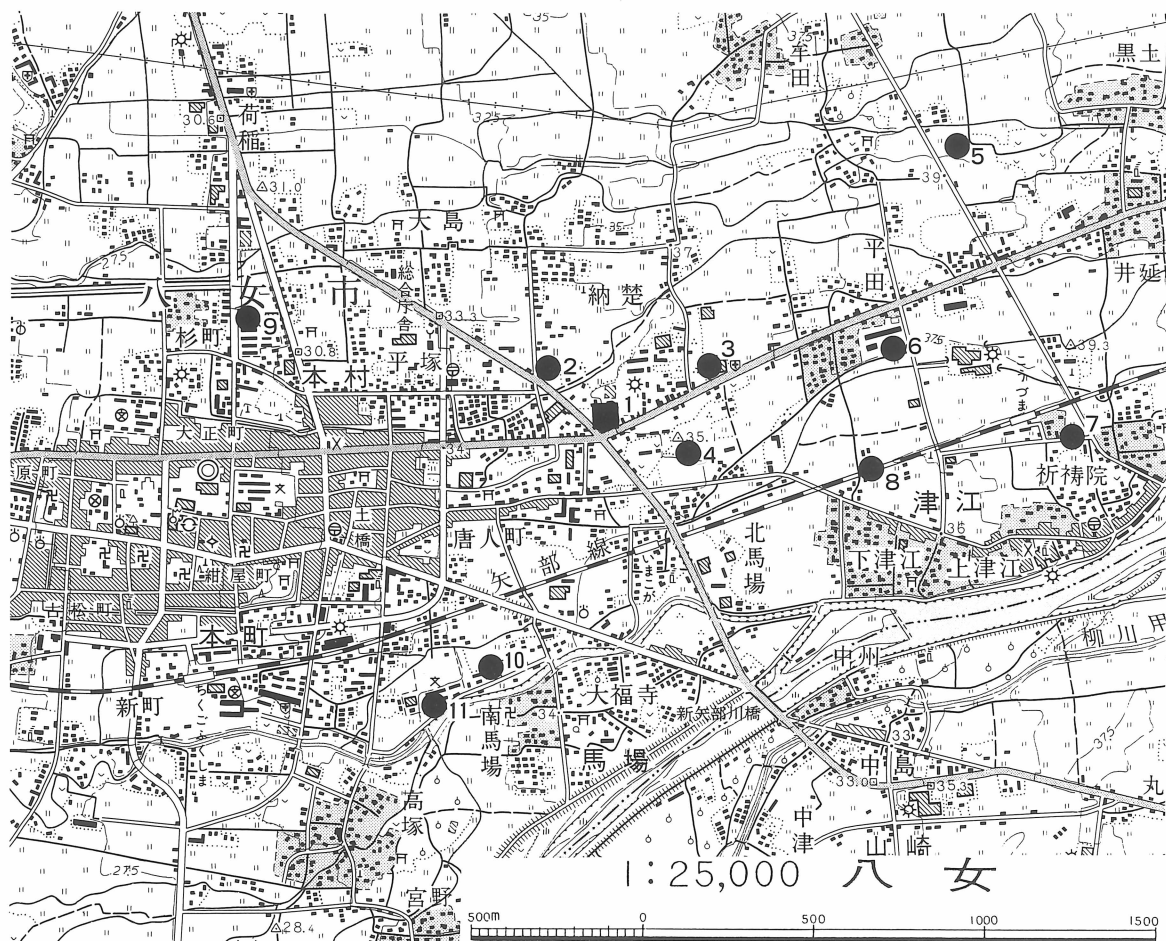
八女市教育委員会	教 育 長	坂 田 不二夫
	社 会 教 育 課 長	小 野 勝 輝
	社会教育課長補佐	大 月 重 信
	社 会 教 育 係 長	下 川 文比古
	社 会 教 育 係	梅 野 満
		井 手 勇 一
		平 島 芳 子
		赤 崎 敏 男（調査担当）
	嘱 託	鹿 田 昌 宏

Ⅱ 位置と環境

赤氏遺跡は、八女市内を南北に走る国道3号線と東西に走る国道442号線の交差点の北側にある。周辺の標高は34m前後で、北側に広がる水田面よりわずかに高くなった位置にある。

今回調査を実施した赤氏遺跡の周辺は古くから弥生式土器が各所で発見されており、東西に遺跡が広がっていることが予想されていた。

周囲の遺跡としては、万上田遺跡、口ノ坪遺跡、南中学校庭遺跡、湊ノ上遺跡、後ノ江遺跡（古墳時代）、高島遺跡、熊野遺跡、後ノ江遺跡、祈禱院遺跡、津ノ江遺跡（弥生時代）、福島中学校庭遺跡（縄文・弥生時代）などがある。



- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|----------|
| 1. 赤氏遺跡 | 2. 万上田遺跡 | 3. 高島遺跡 | 4. 熊野遺跡 |
| 5. 口ノ坪遺跡 | 6. 後ノ江遺跡 | 7. 祈禱院遺跡 | 8. 津ノ江遺跡 |
| 9. 福島中学校庭遺跡 | 10. 湊ノ上遺跡 | 11. 南中学校庭遺跡 | |

第1図 赤氏遺跡と周辺の主要遺跡 (1/25,000)

Ⅲ 調査の概要

今回の発掘調査によって検出された遺構は、弥生時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土壇、土壇基、甕棺墓、円形周溝、古墳時代の竪穴住居跡が発見されている。

① 弥生時代の遺構、遺物

弥生時代中期の竪穴住居跡15軒、土壇約50基、土壇墓約15基、甕棺墓1基が発見された。(表1、竪穴住居跡一覧参照)

遺物として多量の土器をはじめ、紡錘車、投弾、石庖丁、石斧、石鏃、石剣、砥石、石皿、すり石が出土している。特にSK16からは多量の堅果類が出土した。

弥生時代後期の竪穴住居跡約20軒、円形周溝3基が発見された。

遺物として多量の土器をはじめ、石庖丁、砥石、石皿、すり石が出土している。

② 古墳時代

古墳時代前期の竪穴住居跡4軒が発見された。

遺物として土器をはじめ、鉄製品、砥石、石皿、すり石が出土している。



第2図 赤氏遺跡位置図 (1/5,000)



第3図 発掘前の赤氏遺跡（西から）



第4図 遺構検出時の赤氏遺跡（東より）



第5図 発掘調査中（東より）



第6図 実測作業中（西より）



第7図 赤氏遺跡全景(気球写真)



第8図 赤氏遺跡全景(西より)(気球写真)



第9図 赤氏遺跡全景西側〔気球写真〕



第10図 赤氏遺跡全景東側（東側より）

表1 赤氏遺跡竪穴住居一覽表

住居番号	形態	規模(m)	柱穴	棟方向	出土遺物	時期
SB01	長方形	4.7 × ?	?	?		弥後
SB02	長方形	4.7 × ?	?	南北		古前
SB03	長方形	4.9 × 5.7	4本	南北		弥中
SB04	方形	5.8 × 5.8	4本	南北		古前
SB05	?	?	2本	南北		弥後
SB06	長方形	5.7 × 4.0	?	南北		?
SB07	長方形	5.7 × 4.4	?	南北		弥後
SB08	?	3.5 × 4.1	?	?		弥中
SB09	長方形	7.3 × 5.9	2本	東西		弥後
SB10	長方形	5.7 × 4.0	2本	南北		弥後
SB11	長方形	5.2 × 5.4	4本	南北		古前
SB12	長方形	6.6 × 4.1	2本	東西		弥後
SB13	長方形	4.5 × 3.4	?	東西		弥中
SB14	長方形	4.3 × ?	2本	南北		弥後
SB15	長方形	7.0 × 4.2	2本	東西		弥後
SB16	長方形	? × 3.0	?	南北		弥後
SB17	長方形	6.2 × ?	2本	東西		弥後
SB18	長方形	5.2 × ?	?	?		弥中
SB19	長方形	5.9 × ?	2本	南北		弥後
SB20	方形	4.0 × 3.9	なし	?		弥中
SB21	長方形	4.4 × ?	2本	南北		弥後
SB22	長方形	7.6 × 6.5	2本	東西		弥後
SB23	長方形	? × ?	2本	南北		弥後
SB24	長方形	3.5 × ?	?	?		弥後
SB25	長方形	5.4 × 4.8	2本	東西		弥後
SB26	長方形	8.6 × 4.6	2本	東西		弥後
SB27	円形	?	?	?		弥中
SB28	長方形	5.6 × 4.9	?	東西		弥中
SB29	長方形	3.3 × ?	?	南北		弥中
SB30	長方形	3.9 × ?	?	南北		古前
SB31	長方形	?	?	?		弥中
SB32	長方形	5.2 × 4.0	2本	南北		弥中
SB33	方形	4.5 ? 4.5	2本	南北		弥中
SB34	方形	3.6 × ?	?	南北		弥中
SB35	円形	6.6	?	?		弥中
SB36	長方形	6.2 × 5.2	2本	東西		弥後
SB37	長方形	4.3 × ?	?	?		弥中
SB38	方形	5.3 × 5.2	?	?		弥後
SB39	長方形	3.6 × ?	?	?		弥中
SB40	長方形	4.1 × 4.9	?	南北		弥後
SB41	長方形					
SB42	長方形					



第11図 弥生時代中期の竪穴住居（S B33）



第12図 石戈出土状態（S B41）



第13図 石庖丁出土状態（S B21）



第14図 弥生時代後期の竪穴住居 (SB12)



第15図 弥生時代後期土器出土状態 (SB16)



第16図 弥生時代中期貯蔵穴 (SK11)



第17図 甕棺 (I号甕棺)



第18図 土墳墓 (SX15)



第19図 古墳時代前期竪穴住居（SBII）



第20図 古墳時代前期土器出土状態（SBII）

赤 氏 遺 跡

八女市文化財調査報告書

第 20 集

平成 3 年 3 月 31 日

発 行 八 女 市 教 育 委 員 会
福岡県八女市大字本町647番地
印 刷 ア オ ヤ ギ 株 式 会 社
福岡市東区箱崎ふ頭6丁目6-39
電話 092 (641) 1431